

# 「考え、議論する」 道徳に向けた授業実践～問題解決的な学習を目指した話し合い、表現活動の工夫～

1 主題名 公德心 [ 4 - (2) 公德心, 社会連帯の自覚 ]

2 資料名 「缶コーヒー」 出典：中学道徳3 明日をひらく (東京書籍)

## 3 ねらい

公德のモラルを大切にし、人間として互いの連帯を自覚し、より望ましい社会を実現しようとする態度を育む。

## 4 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値

道徳の内容項目「4 主として集団や社会とのかかわりに関すること」の「(2) 公德心, 社会連帯の自覚」に関する指導内容である。

最近、若者のマナーやモラル低下が指摘される。その原因の一つに、ゲームや SNS などの普及により、一人で多くの時間を過ごし、顔を合わせて話をするよりも、SNS でのやりとりが多くなっているため、人間関係が希薄になり、お互いがお互いのモラルやマナーに関心を持てなくなってきたことが考えられる。公共の場において、自分のことだけを考え、周りの人たちに迷惑を掛けている人や、困っている人がいても、気付かないふりをする人もいる。

そこで、公德のモラルを高めるために、一人一人が社会の一員としての自覚を持ち、社会全体に目を向け、お互いが安心して生活できる社会をつくっていかうとする社会連帯の精神を持つ態度を育てていくことが大切である。

### (2) 生徒の実態

指導学級である3年1組は、明るく落ち着いた学級である。修学旅行や合唱コンクールなどの学校行事にはとても前向きな気持ちで取り組み、クラスの団結力を高め、互いへの信頼感を深めてきた。また、委員会や部活動の活動を通して、周りから必要とされている実感や認められる経験を積み重ね、最高学年としての自覚と誇りを持って活動している姿が見られる。

一方で、一部の生徒がまだまだ自分勝手な振る舞いをしたり、自己中心的な言動を取ってしまったりすることもあり、周囲に不快感を与えてしまう様子も見られる。また、その様子を見て、たとえ不愉快に思っているとしても、その気持ちを相手に伝えることができず、生活記録ノートに書くことで不満を漏らす生徒もいる。



## 5 ねらいにせまるための指導の工夫

授業では、社会全体に目を向け、お互いが安心して生活できる社会をつくっていかうとする社会連帯についてじっくりと考える機会を与えるために、役割演技を通して自己の在り方をみつめさせたい。まずは、自分勝手な振る舞いとそれが引き起こす結果を冷静に考えさせたい。そして、自分がその立場に立ったらどう思うか、どんな気持ちになるか、考えさせ、女性の振る舞いには問題があるのか、お婆さんはなぜ怒っているのかなど、生徒の思考を深めさせたい。また、多様な話し合い活動の中で、自分の意見と他の生徒の意見とを照らし合わせることで、自分の意見をより深めさせたい。

これから社会に出て行く生徒たちに、モラルやマナーについて考えを深め、よりよい社会の実現を求めようとする心情を育てていきたいと考える。

6 本時の指導

	主な学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 自分勝手な振る舞いについて考える。(4分)</p> <p><b>個人</b> 【発問】自分勝手な振る舞いとは、どんなことか。</p> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他人に嫌な思いをさせること。</li> <li>・自分のことしか考えていないこと。</li> </ul> <p>2 資料を読む。(p.160 10行目まで)</p>	<p>○…教師の活動 ★…指示 ・…留意点 *…状況に応じた声掛け ◆…評価</p> <p>★ワークシートには記入させない。 ・意図的指名により2～3名に発言させる。</p> <p>○教師が範読する。 ○主人公は、勉強に集中する必要があることをとらえさせる。</p>
展開 35分	<p>3 資料を読む。(p160 11行目～p163 12行目)</p> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OLらしい女性の方が悪い。</li> </ul> <p>4 資料を読んで話し合う。</p> <p><b>個人</b> <b>ペア</b> 【発問】OLの女性の振る舞いのどこが問題なのだろう。</p> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボリュームを大きくして音楽を聞いている。</li> <li>・コーヒーの缶を窓の所に置いて平気である。</li> <li>・缶が落ちたのを電車のせいになっている。</li> <li>・落ちた缶を拾いもしなかった。</li> </ul> <p><b>グループ</b> 【活動】OL擁護派と反対派に分かれてそれぞれの立場で言い分を主張し合おう。</p> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>〈 OL 擁護派 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由はある。この女性のしたことは誰でもやっていることだ。</li> <li>・おばさんも言っているように、「私」はもっとはっきり言えば良かったと思う。</li> </ul> <p>〈 反対派 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聞くのは自由だけど、ボリュームを大きくして音楽を聞くのは、他人のことを考えていない。</li> <li>・一番問題なのは、缶が落ちたのは自分のせいに、電車のせいになっている。</li> </ul>	<p>○教師が範読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OLらしい女性と私のどちらが悪いと思うか聞いてみる。</li> <li>・OLらしい女性の問題となる振る舞いに線を引かせる。→ペアで確認</li> <li>・発問→意図的指名により数名</li> <li>*同じような考えの人はいますか。</li> </ul> <p>★ペアで擁護派と反対派に分かれて、主張し合う。機械的に分ける。</p>

	<p>5 4人一組で役割演技を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4人一組になって、「OLの女性」「私」「となりのおばさん」「傍観者」の役を決める。</li> </ul> <div data-bbox="240 286 448 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>グループ</p> </div> <div data-bbox="448 286 868 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【中心発問】コーヒー缶が転り、「私」のスカートとノートが汚れてしまったとき、それぞれの人は、どんな気持ちになったか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>全部の役を演じられるように、役を交代する。役ごとに、どんな気持ちになったか、吹き出しに書く。</li> </ul>  <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>「OLの女性」・電車が揺れたのだから仕方がない。まずいな。</p> <p>「私」・だから、言ったのに…。私の大切なノートが汚れてしまった。</p> <p>「おばさん」・もっとはっきり言ってやれば良かったのに。なんで謝らないの。</p> <div data-bbox="240 1151 432 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>個人</p> </div> <div data-bbox="432 1151 868 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【発問】それぞれの立場で望ましい振る舞いとは何だったのだろう。</p> </div> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>「OLの女性」・まずは「私」に謝るべきだった。</p> <p>「私」・もっとはっきりと相手に伝えればよかった。</p> <p>「おばさん」・「OLの女性」に注意すべきだと思う。</p>	<p>○資料の挿絵を黒板に貼りながら、主人公の心情を追っていく。</p> <p>★発問→「ワークシートにも書いてみよう。」</p> <p>○ワークシートを配付し、記入させる。</p>   <p>○机間指導を行い、生徒の記入内容を確認する。</p> <p>○公德心の意味について簡単に定義する。 「みんなのために（公共のために）迷惑をかけないように、互いに思いやって行動しよう、みえないルールを守って社会の一員として生活しよう、そんな心意気を「公德心」というのです。」</p> <p>◆公德のモラルを大切にし、人間として互いの連帯を自覚し、より望ましい社会を実現しようとする態度を見出そうとしているか。</p>
<p>終末 1 0 分</p>	<p>6 今日の授業を振り返って、感想・考えたことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>残りの資料を読み、おばさんの「これからの社会はどうなるんだろう。」という言葉に対して、自分なりの答えを書く。</li> </ul>	<p>○教師が範読する。</p> <p>*書けない生徒には、よりよい社会を目指すには、社会の一員として、どのようなことを心掛けたら良いか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意図的指名により、2～3名に発言させる。</li> </ul>

## 7 本時の評価

公德のモラルを大切に、人間として互いの連帯を自覚し、より望ましい社会を実現しようとする態度を育むことができたか。【ワークシートの記述・授業の感想】

## 8 板書計画

公德心	望ましい振る舞いとは？	おばさん	OL	私	それぞれの人はどんな気持ちだったのだろう。	缶コーヒー 女性の振る舞いには問題があるのだろうか 〈正しい派〉 ・自由 ・だれでもあること 自由。でも、大 き ・「私」はもつとはつき りと言うべき い音は迷惑・ ・電車のせいにするのは良くない
・電車の中ではものを食べない。 ・嫌だと思つたことははっきり伝える。 ・自分のことばかり考えない。 ・自分勝手は許してはいけない。		・汚れちゃつてかわいそうに ・ちゃんと謝りなさいよ。	・まずいことになつたな ・私は悪くない！	・やつぱりこうなつたか ・はつきり言えばよかつた		〈反対派〉 ・音楽を聞くのは自由。でも、大 き ・電車のせいにするのは良くない



## 9 授業を終えて

役割演技を用い、「私」が電車の中で置かれた状況を再現することで、自分勝手な振る舞いとそれが引き起こす結果をじっくりと考えさせることができた。役割演技は、自分がその立場に立つたらどう思うか、どんな気持ちになるか、考えさせ、女性の振る舞いには問題があるのか、おばさんはなぜ怒っているのかなど、生徒の思考を深めさせるのに効果的であると思われる。

また、役割演技の前にワークシートに書かせることで、自信をもって役を演じることができた。それぞれの立場で考えることで、社会全体に目を向け、お互いが安心して生活できる社会をつくるためにはどうしたらよいか、じっくりと考える機会を与えることができた。

今後も、自分の意見と他の生徒の意見とを照らし合わせることで、自分の意見をより深めさせることをめざし、個人、ペア、グループと多様な話し合い活動を取り入れていきたい。